

わたしの議会。



10月20日
米国サンタバーバラ市親善使節団訪問事業で市長や議員達と撮影

とば市議会だより 目次

平成27年度決算の概要……	2	一般質問……………	6～10
議案質疑……………	3	TOBAミライトーク……	11
常任委員会報告……	3～4	きらり輝く人達、他……	12
議員別表決結果……	5～6		

平成 27 年度一般会計及び各特別会計歳入歳出決算認定ほか、伊勢地域農業共済事務組合の解散に関する協議についてなど、議案 10 件と発議 6 件、請願 4 件を審議しました。

議会報告

平成27年度 決算の概要

平成27年度の決算は、一般会計では実質収支が3億293万5000円の黒字となり、前年度の実質収支を差し引いた単年度収支では7372万円の黒字となりました。

また、特別会計では実質収支において国民健康保険事業で1215万5000円、介護保険事業で4083万9000円の黒字となっており、5事業の合計で5702万8000円の黒字となりました。

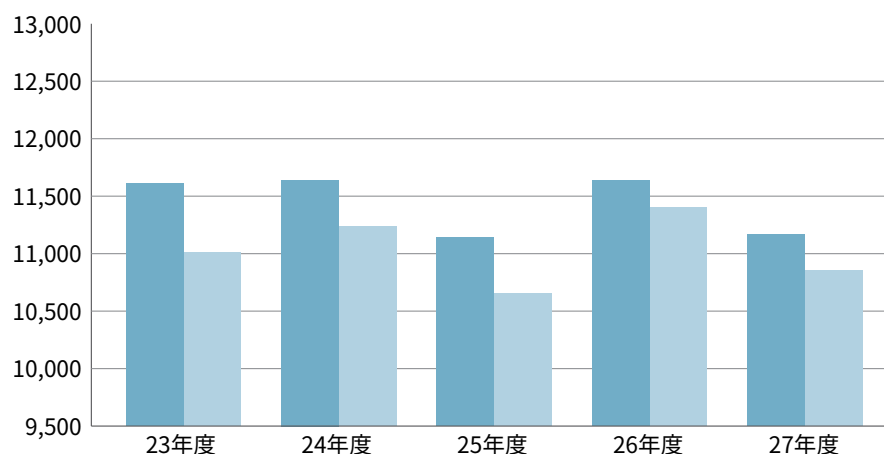
平成27年度における一般会計、特別会計の決算状況は下表のとおりです。

平成 27 年度 会計別決算状況

(単位：千円)

区分		歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出 差引額 (形式収支)	翌年度へ 繰り越す べき財源	実質収支	平成 26 年度 実質収支	平成 27 年度 単年度収支
会計		A	B	C (A-B)	D	E (C-D)	F	G (E-F)
一般会計		11,167,254	10,853,169	314,085	11,150	302,935	229,215	73,720
特別会計	国民健康 保険事業	3,675,750	3,663,595	12,155	0	12,155	712	11,443
	介護保険 事業	2,580,545	2,539,706	40,839	0	40,839	22,575	18,264
	定期航路 事業	861,771	861,770	1	0	1	1	0
	特定環境 保全公共 下水道事業	143,266	143,265	1	0	1	0	1
	後期高齢者 医療	495,122	491,090	4,032	0	4,032	4,699	△ 667
	小計	7,756,454	7,699,426	57,028	0	57,028	27,987	29,041
合計 (一般+特別)		18,923,708	18,552,595	371,113	11,150	359,963	257,202	102,761

一般会計決算規模の推移



(単位：百万円)

	歳入	歳出
23 年度	11,608	11,007
24 年度	11,641	11,237
25 年度	11,141	10,656
26 年度	11,638	11,400
27 年度	11,167	10,853

・議案質疑・

戸上 健

自主財源の創出は

市長

2億712万円の
結果が出ました

問 自主財源の創出は。

答 市長 遊休未利用地の販売等をやりましたが、一番大きかったのはふるさと納税です。導入した平成20年度は13件185万円。いろいろ工夫し、観光協会のノウハウも生かし、平成27年度は3048件2億712万円の結果が出ました。

問 都市計画税は、1億2000万円

納税者から集めて支出したのは2800万円。本来は9200万円残っているはずだが。

答 市長 都市計画税については、非常に厳しい議論だと認識しています。今一気に解決しようとする

とすると財政が硬直化する心配があります。基金化していく方法を考えています。

常任委員会報告

● 各常任委員会に7議案と4請願が付託されました。

文教産業委員会

審査の主な内容は、次のとおりです。

(議案第22号 伊勢地域農業共済事務組合の解散に関する協議について)

議案第23号 伊勢地域農業共済事務組合の解散に伴う財産処分に関する協議について

議案第24号 伊勢地域農業共済事務組合規約の変更に関する協議について

問 これまでも伊勢地域農業共

済事務組合に対し、農家から様々な相談があったと思うが、組織が県内一本化されるとサービスが低下する恐れはないのか。

答 伊勢地域農業共済事務組合は解散し組織は県内一本化されるが、これまでも同様に市も相談窓口となるので問題はない。

(所管事務調査「景観と再生可能エネルギーの調和について」中間報告)

本委員会では、8月4日に静岡県富士宮市、8月5日には環境省を行政視察した。視察結果を踏まえ、本委員会ではこれまでの振り返りと、今後の方向性について論点整理を行った。

現段階で委員の多数は、本市の景観を守る観点から再生可能エネルギー開発に対する一定の規制は必要ではないかとの認識であった。しかし、個人の財産権の問題や他の開発行為との線引き、開発後に入る見込みの市税収入等、今後さらに議論すべき問題もあることから、近日中に学識経験者を参考人招致することを決定した。

【地域とのトラブルが生じている事例】



経済産業省ホームページより

予算決算委員会

審査の主な内容は、次のとおりです。

(認定第1号 平成27年度鳥羽市一般会計及び各特別会計歳入歳出決算認定)

第5次総合計画で掲げた目標の実現に向け、市長が重点的に取り組みを進めた子育て支援や防災対策、産業振興など各種事業の結果や国が進める「まち・ひと・しごと創生」に取組むため、「地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金」を活用した子育て世帯への支援や消費喚起を促すための商品券を発行し、また漁業と観光の連携など地域振興を行うなど積極的に事業に取り組んだ内容であった。

財政状況の分析における重要な指標として、経常収支比率、実質公債費比率および将来負担比率があるが、平成27年度の各

数値は前年度と比較して改善しており、財政運営については健全な運営であったと言える。

一般会計の歳入については、前年度と比較すると、4億7092万2000円の減少となった。この要因として、地方消費税交付金や地方交付税は増加したものの、国庫支出金や繰入金、繰越金が減少したことによるものである。歳入における自主財源のうち、市税や使用料及び手数料などの減少した要因について質疑があり、今後の更なる自主財源の確保に向けた取り組みを求める意見があった。

同様に一般会計の歳出については、前年度と比較すると、5億4666万8000円の減少となった。この主な要因は、安楽島保育所建設、佐田浜農水産物直売所建設、漁業経営構造改善事業などの完了による普通建設事業費の減少や特別会計への繰出金が減少したことによるものである。

審査の過程で、委員から予算執行や説明資料の記載事項など何点が指摘もあったが、総括的

に見れば、概ね良好であったと考える。

また、組織体制という面から一部の所管課において人員不足といった指摘もあり、今後は職員の健康管理にも十分配慮し、業務が遂行できる体制を確保して欲しいとの意見もあった。



平成 27 年度決算議案を起立採決にて認定

（議案第21号 平成28年度鳥羽市一般会計補正予算（第2号））

補正予算の主なものは―

- 地震対策推進事業 89万円
- 地域介護・福祉空間整備等事業 245万円
- ホスピタリティ戦略事業 921万円
- 子ども支援ネットワーク・グロージング事業 12万円

歳出において6款観光商工費のホスピタリティ戦略事業について、Wi-Fi機器の整備後の効果や管理運営経費について、効率的な運営を求める意見が出されたほか、保育所や小中学校の施設等の修繕や工事については、緊急かつ重大なものについては、早急な対応を求める意見もあった。

人事

教育長の任命に同意

齋藤 陽二氏（再任）

教育委員会委員の任命に同意

亀川 聖子氏（再任）

公平委員会委員の選任に同意

小竹 寛氏



観光・防災 Wi-Fi ステーション整備事業
整備箇所全体図

議案番号	議案名	議決日	審議結果	片岡直博	河村孝	山本哲也	木下順一	井村行夫	中世古泉	戸上健	浜口一利	坂倉広子	世古安秀	橋本真一郎	尾崎幹	坂倉紀男	野村保夫
21	平成28年度鳥羽市一般会計補正予算(第2号)	10月4日	可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
22	伊勢地域農業共済事務組合の解散に関する協議について		可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
23	伊勢地域農業共済事務組合の解散に伴う財産処分に関する協議について		可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
24	伊勢地域農業共済事務組合規約の変更に関する協議について		可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
25	平成27年度鳥羽市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について		可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
26	教育長の任命について	9月15日	同意	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
27	教育委員会委員の任命について		同意	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
28	公平委員会委員の選任について		同意	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
認定1	平成27年度鳥羽市一般会計及び各特別会計歳入歳出決算認定について	10月4日	認定	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
認定2	平成27年度鳥羽市水道事業会計決算認定について		認定	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
請願1	義務教育費国庫負担制度の存続と更なる充実を求める請願		採択	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
請願2	教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める請願		採択	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
請願3	子どもの貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求める請願		採択	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
請願4	防災対策の充実を求める請願		採択	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
発議2	議会報告会並びに意見交換会への議員の派遣について		可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
発議3	サンタバーバラ市親善使節団訪問事業への議員の派遣について		可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
発議4	義務教育費国庫負担制度の存続と更なる充実を求める意見書の提出について		可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
発議5	教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める意見書の提出について		可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
発議6	子どもの貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求める意見書の提出について		可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
発議7	防災対策の充実を求める意見書の提出について		可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○

議長につき表決なし

議案番号	議案名	議決日	審議結果	片岡直博	河村孝	山本哲也	木下順一	井村行夫	中世古泉	戸上健	浜口一利	坂倉広子	世古安秀	橋本真一郎	尾崎幹	坂倉紀男	野村保夫
報告3	平成27年度鳥羽市健全化判断比率の報告について		報告につき採決なし														
報告4	平成27年度鳥羽市定期航路事業特別会計資金不足比率の報告について																
報告5	平成27年度鳥羽市特定環境保全公共下水道事業特別会計資金不足比率の報告について																
報告6	平成27年度鳥羽市水道事業会計資金不足比率の報告について																
報告7	一般財団法人鳥羽市開発公社及び公益財団法人鳥羽市武道振興会の経営状況の報告について																
報告8	専決処分した事件の報告について（自動車破損事故に伴う和解及び損害賠償の額を定めることについて）																

これが問いたい・ここが聞きたい

一般質問



9月12日～13日に7人の議員が一般質問を行いました。
質問と答弁の概要をお知らせします。

※一般質問、議案質疑の原稿は議員本人の文責です。

日程	議員氏名	項目
9月12日(月)	戸上 健	菅島採石問題について 介護予防・日常生活支援総合事業について 移住定住施策の補強・拡充について
	坂倉紀男	学校統合の具体的なビジョンについて 東日本大震災時における遠野市の役割に習う
	世古安秀	鳥羽市を活性化するための県立鳥羽高校との連携について 鳥羽市独自の給付型奨学金の創設について 小中学生の遠距離通学費の補助について
	河村 孝	漁業者の後継者不足解消及び所得向上について
9月13日(火)	片岡直博	予想される大震災に対する備えについて
	木下順一	災害用備蓄品(食料・水等)について 災害発生前後に対応する計画策定について
	野村保夫	木田市長の総括と来期の進退について

菅島採石緑化完了を 守らせるか

市長

契約を守らせたい

問 平成26年7月1日に締結した売買契約書第5条第2項の規定とは。

答 総務課長 「乙（鶴田石材株式会社）は契約期間満了時には、すべての緑化を完成させるものとする。」とあります。

問 契約期間は。

答 総務課長 「締結日から平成34年3月31日までとする。」となっています。

問 売買契約書第2条は何と定めていますか。

答 総務課長 「乙は（中略）事前に採取計画を作成し、甲（鳥羽市）の承認を得たうえ、その工程表を遵守し、採取するものとする。」とあります。

問 工程表からどれだけ遅れていますか。

答 総務課長 1年遅れです。

問 緑化について工程表通り遂行させられますか。

答 副市長

最大の努力をするよう指導します。



スカイラインから見た
驚きの鳥羽光景



戸上 健

地域支援事業後退の 心配はないか

健康福祉課長 維持します

問 要支援1と2は介護保険給付から外し、地域支援事業に移行します。サービス低下の心配は。

答 健康福祉課長 これまでの介護予防給付と同様のサービスを継続し、サービスの幅が広がります。

問 要介護1と2が原則特別養護老人ホーム排除となりますが、介護難民問題は招きませんか。

答 健康福祉課長 住み慣れた地域で、在宅で安心して生活を送れる仕組みづくりに取り組んでいます。在宅で介護ができるような環境を整えていきたい。

学校統合の 具体的なビジョンは

教育長

よりよい教育環境を 整備する

問 通学条件を念頭に入れた学校の適正配置、校区解消も含めた上での柔軟な取り組みの考えは。

答 教委総務課長 義務教育諸学校施設費国庫負担法施行令には、適正な学校規模の条件として、公立学校の通学距離は、小学校でおおむね4キロ以内、中学校では6キロ以内となっています。今後、本市が統合を行っていくには、現在の学区を解消したものとなります。

問 学校統合の具体的なビジョンについて聞きます。

答 教育長 子どもたちにとってよりよい教育環境を整備するというところで、小中学校統合計画をビジョンとして進めたい。

救援物資の搬入は

総務課防災危機管理担当副参事
ヘリによる物資輸送が主要な手段



坂倉 紀男

問 サンアリーナ高台に県広域防災拠点整備されていますが、避難所への救援物資の方面別仕分けをどうしていきますか。

答 総務課防災危機管理担当副参事 県が物資支援活動方針の1次案で、災害物流全体のマネジメントを行うための物流専門家の派遣を要請する案があり、本市も県と内容を確認しながら、地域防災計画に反映していきたい。

問 救援物資搬入は、量的な輸送方法に頼らざるを得ない場合、ヘリを飛ばすことも考えていますか。

答 総務課防災危機管理担当副参事 発災当初、離島、本土等含めてヘリによる物資輸送が主要な手段になると考えています。



サンアリーナ高台に整備されている三重県広域防災拠点

鳥羽高校は市活性化に不可欠では



世古 安秀

市長

要請があれば
力いっぱいやりたい

問 県立鳥羽高校の存続が危惧されていますが、鳥羽の活性化に存続は欠かせません。連携をどのように図ってきましたか。

答 観光課長 平成27年度には課外クラブ活動「とばっこくらぶ」への支援を行い、観光プランコンテスト（観光甲子園）に出場し、見事、優秀作品賞を受賞しています。

問 伊勢志摩地域高等学校活性化推進協議会に教育長も参加されてどのような意見を述べていますか。

答 教育長 市内唯一の県立高校で伊勢志摩地域唯一の総合学科であることから、存続して欲しいと議論に参加しました。

問 市長の考えを聞きます。

答 市長 鳥羽高校が活性化してほしいと切に願っています。協力の要請や話し合いはいつでも受け、力一杯やりたい。知事や県教育長にも話

をしてい
きたいと
思います。



鳥羽JC主催により高校生「とばカフェ」も行われました

遠距離通学費の完全補助は

市長

来年度から100%補助にします

問 小中学生の遠距離通学費の補助対象となっている人数と費用は。

答 教委総務課長 小学校児童153人、中学校生徒34人、合計187人で、479万8000円です。

問 平成27年度分で要望に対して約80%が交付税措置されています。通学する距離により50%、85%補助となっているですが、100%完全補助できるのではないですか。

答 市長 100%で来年度からやっていきたい。

漁業従事者の推移は



河村 孝

農水商工課長

6年間で
221人の減少です

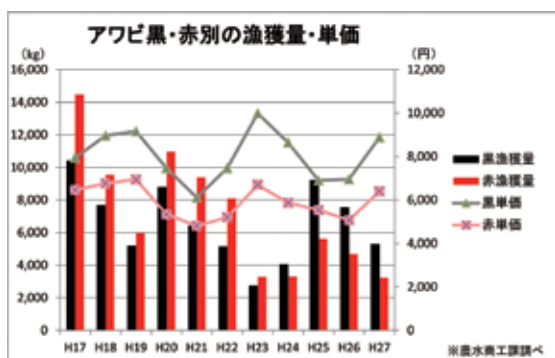
問 漁業従事者の推移を教えてください。

答 農水商工課長 鳥羽磯部漁業協同組合の組合員数の推移を見てみると、平成21年度に985人いた正組合員数が、平成26年度には764人となり、6年間で221人の減少となっています。理由として考えられるのは、魚価の低迷、漁獲量の減少を起因として漁業者の所得にも大きな影響を与えており、漁業の後継ぎを担うべき若者の流出が加速してきたと認識しています。

問 水産資源の増殖、人材育成や後継者不足解消、儲かる漁業の構築という観点からの地域おこし協力隊制度を活用した事業の拡充について市長の見解は。

答 市長 放流しているメガイアワビよりもクロアワビのほうが増えているのが不思議ということで、そのあたりは提案をいただいた稚貝を大きくするという含めて、もう

少し研究が必要ではないかと考えました。それから漁業者の所得を向上させるための総合的な漁業プランナーについては今、鳥羽がスタートをしました地域おこし協力隊で取り組んでいくのは非常にいいことではないかと同調させていただきたいと思っています。



アワビ黒・赤別の漁獲量・単価

災害時の 水・道路・護岸対策は



片岡 直博

市長
努力をしていきたい

問 今後30年間に60%から70%の確率で起きるであろう大震災に対する、水に対する備えは。

答 水道課課長補佐 基幹管路の耐震化に重点を置き、水道ビジョンの見直しを行い、老朽管を耐震管に更新し、地震に強い水道を目指したい。

問 個人の井戸水の使用について、災害時の水源として利用すべきでは。

答 総務課防災危機管理担当副参事 生活用水確保の井戸登録を実施している自治体も多く、実施を検討したい。

問 市道岩倉安楽島線を生活道路と緊急時の輸送道路として改良すべきでは。

答 建設課長 今後、市道岩倉安楽島線の道路改良を実施計画に盛り込み社会資本整備総合交付金事業に新規要望していきたい。

問 大明西町、大明東町の護岸は老朽



安楽島橋下流の護岸

化が進んでいます。護岸管理者である県に強く要望すべきでは。

答 建設課長 緊急性のある老朽化した護岸等について県に強く働きかけたい。

問 水対策・道路対策・護岸対策について市長の所見を聞きます。

答 市長 インフラ整備をすることで災害に強くなりますし、市民生活にも利便性が向上すると考えますと、国県にもっと強く要望していく必要があると思います。いざという時の役に立つ、準備をする努力をしていきたい。

期限切れ前備蓄品の 有効活用は



木下 順一

総務課防災危機管理担当副参事
フードバンクへの
提供も検討する

問 賞味期限を迎えた食料備蓄品はどうしますか。

答 総務課防災危機管理担当副参事 期限切れが近くなった備蓄品は防災訓練などに活用し、期限切れの備蓄品は、その役割、備蓄期限を終了したということで廃棄処分します。

問 防災訓練ごとに備蓄品を配布するのか、しないのか不明で、統一した基準が必要ではないですか。

答 総務課防災危機管理担当副参事 基準的な考えがないので、備蓄品の保管について考え方を明確にし、備蓄品の配布基準も含めて検討していきたい。

問 期限切れ近くの非常食の有効活用として実食する機会を防災教育にプログラムとして取り入れては。

答 教委総務課長 児童生徒に保存食を試食してもらい、防災意識の向

上と家庭での取り組みに繋がっているかと考えています。

問 出来るだけ廃棄しない方法を考えている必要があると思います。フードバンク※で備蓄品を有効活用する考えは。

答 総務課防災危機管理担当副参事 備蓄品の有効活用という観点からフードバンクへの提供も選択肢として検討していきたい。

市長 フードバンクを活用して備蓄品の期限切れ間近の物を生活困窮者に提供することは、大変いいことだと思えます。しっかりと検討して活用する様職員に言っていきたい。

※フードバンクとは

は、食品企業等の製造工程で発生する規格外品などを引き取り、福祉施設等へ無料で提供する「フードバンク」と呼ばれる団体・活動を指す。(農林水産省ホームページより抜粋)

フードバンクとは

フードバンクとは、工場・製造業等から発生する規格外品や賞味期限切れ間近の食品などを、福祉施設等に提供し、生活困窮者に配布する活動です。

フードバンクで扱う食品・扱えない食品	フードバンクで扱う食品	フードバンクで扱えない食品
賞味期限切れ間近の食品	賞味期限切れ間近の食品	賞味期限切れの食品
賞味期限切れ間近の食品	賞味期限切れ間近の食品	賞味期限切れの食品
賞味期限切れ間近の食品	賞味期限切れ間近の食品	賞味期限切れの食品

セカンドハーベストジャパンホームページより
<https://www.2hj.org>

来年4月の 市長選挙への気持ちは



野村 保夫

市長

12月議会では

はつきりさせたい

問 平成17年に初当選してから12年間の様な気持ちで市政に取り組んできましたか。

答 市長 一期目は、選挙公約は必ず守らなくてはならない、失敗は許されないとの思いで、緊張感を持って市政運営に当たってきました。二期目は、ある程度自信と面白さが出てきて、学校の耐震化や弘道小学校、加茂小学校等の建設に取り組みました。三期目は、余裕が出てきて、相違保育所、安楽島保育所や神島小中学校の高台移転、JA、JFが連携した鳥羽マルシェを建設しました。

問 鳥羽城建設についてはどの様に考えていますか。

答 市長 鳥羽城が欲しいとは思いますが、長丁場で考えなくてはと思います。

問 松尾第二期工業団地を宅地化にする考えはどうですか。

答 市長 民業の圧迫等の問題もあり、全面的には難しいと思います。

問 木田市政を採点すると私は70点以上かと思いますが、市長はどう感じていますか。

答 市長 野村議員と同じと言わせて頂きます。

問 来年4月に四回目の選挙がありますが、市長はどの様に考えていますか。

答 市長 12月議会ではつきりさせようと考えており、思案中と理解して頂きたい。

2 款 総務費 4 項 選挙費	
目	本年度
2- 4- 4	
5 鳥羽市長選挙費	1,500

既に今年度一般会計予算に計上済
(単位：千円)

▶ 委員会行政視察

常任委員会では、次のとおり行政視察を行いました。

文教産業常任委員会

視察日 8月4日・5日

視察先 静岡県富士宮市

(富士宮市富士山景観等と再生可能エネルギー発電設備設置事業との調和に関する条例について)

環境省環境影響評価課

(太陽光発電事業の環境保全対策に関する自治体の取組事例集について)

環境省国立公園課

(国立・国定公園内における大規模太陽光発電設備のあり方に関する基本的考え方について及び自然公園法施行規則の一部を改正する省令について)



富士宮市



環境省

年賀状の自粛申し合わせについて

市議会では、「市議会議員」としての年賀状を自粛することを申し合わせておりますので、市民の皆様のご理解をお願いいたします。

「TOBAミライトーク」で 課題を共有しませんか

市議会では、平成21年から町内会自治会や各種団体を対象とした議会報告会を実施してきましたが、若い方や女性の参加者が少ないこともあり、多様な意見がどうお聴きするかが課題となっていました。

今年5月に新たに設置した広報広聴委員会で議会報告会のあり方について協議しました。

9月には、ママ友サークルの皆さまと、鳥羽市の子育てや移住定住について話し合う「TOBAミライトーク」を初めて実施し、地域課題を共有することができました。

そして今回、議会報告会を新たに「TOBAミライトーク」として再始動し、皆さまのもとに議員を派遣します。

▶派遣までの流れ

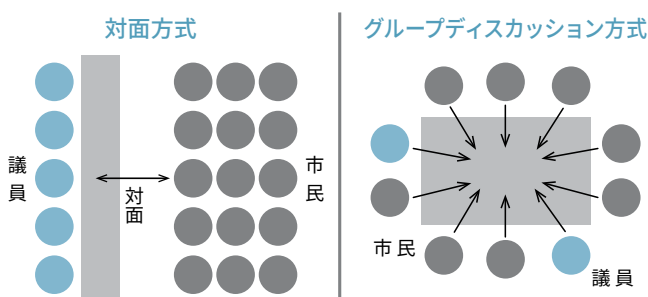
①話し合いたいテーマを一覧表から選択し、議会事務局へ申し込んでください。



②議会事務局で受け付けし、広報広聴委員会で派遣する議員数を調整します。



③当日、担当グループが出向いて、意見交換を行います。なお、これまでのような対面方式（議員と市民が向かい合う）ではなく、グループディスカッション方式（いくつかのテーブルに分かれ、市民と議員と一緒に話し合う）を基本とします。



▶テーマ一覧

- | | |
|--------------|--------------------------|
| ① 移住定住 | ⑤ 環境、まちづくり |
| ② 子育て支援、教育 | ⑥ 防災 |
| ③ 産業振興、雇用 | ⑦ その他（上記以外のテーマで話し合いたいこと） |
| ④ 高齢者、障がい者福祉 | |

▶実施期間

毎年6月1日～翌年4月30日
（土、日、祝日、夜間の開催も可。）

▶派遣時間

約1時間30分程度。

▶申込受付

原則、実施希望日の3週間前までに議会事務局へ申し込んでください。

▶対象

市内在住、在勤、在学の5人以上のグループが市内で実施する集会へ議員を派遣します。

（対象となるグループの例）

市民団体…町内会自治会、婦人会、老人会、PTA、消防団、ボランティア団体、子育てサークル、NPO、学生 等

事業所等…商工会議所、観光協会、医師会、福祉事業所、漁業組合、農業組合、森林組合、その他事業所 等

▶経費

無料。ただし、公共施設以外での開催経費は申込者でご負担頂きます。

▶申込方法

申込用紙（市議会ホームページからダウンロード可）により、電子メール、ファクス、郵送、持参で申し込んでください。

<http://www.city.toba.mie.jp/gikai-shomu/tobamiraitalk.html>

- ▶注意事項
- ①公序良俗を阻害する内容や、政治、宗教、営利活動が目的の催しへの派遣は対象外です。
 - ②個人の苦情や陳情要望をお聞きする場ではありません。
 - ③開催日時等、必ずしもご要望に沿えない場合があります。申込時に議会事務局から調整のご連絡をいたします。



きらり輝く人達

今、きらりと輝いている鳥羽市出身の人達にスポットをあてる企画、今回はボートレース選手の吉川貴仁さんです。

プロフィール

よしかわたかひと
吉川貴仁さん

専門学校でスポーツ学を専攻。卒業後はスポーツ関係の仕事に就いていたが、競争倍率約44倍の難関を突破し、ボートレース選手養成学校へ入学。今年3月に卒業、5月にデビューした。8月には初勝利を飾り活躍している。

―鳥羽市初のボートレース選手となったわけですが、目指そうと思っ
たきっかけは何ですか。

知人からの紹介でボートレースを知ったのがきっかけです。調べてみると自分の体格にも合っているスポーツで、初めて生でレースを見に行った時にスピード感や迫力がありカッコいいなと思ったのが最初の印象でした。

―今年の春は少しの間帰省されたそうですが、久しぶりの鳥羽はどうでしたか。

時間がゆっくりとしているようで落ち着きます。久しぶりに地元に戻ってくると色んな人に声を掛けてもらったりして、もっと頑張ろうという気持ちになります。

―最後に、鳥羽市民へメッセージをお願いします。

目の前で見えるレースはエンジン音やスピード、旋回の時の水しぶきなど、すごく迫力があります。鳥羽からだとしどいのですが、ぜひ津ボートレース場に生で見に来て頂きたいと思います。

編集後記

わたしの議会。（とば市議会だより）第157号をお届けします。

9月にママ&キッズサークル in 答志島や島の旅社の皆さんと意見交換をしました。

とにかく、答志のママさん達はパワフル！よく「よそ者、若者、ばか者が地域を変える」と言いますが、そのパワーがここのママさん達にはあり、すでに活動が始まっています。

これからも離島に住み続ける子育て中の若い方々の思いを少しでも叶えられるように、今回の「TOBAミライトーク」で出された意見を議会で議論し、応援できたらいいなと思いました。

記 世古安秀



若いママさん達と熱く語り合いました！

広報広聴委員会	委員長	坂倉広子
	副委員長	山本哲也
	委員	片岡直博
	委員	河村 孝
	委員	井村行夫
	委員	浜口一利
	委員	世古安秀